



平成22年5月期 第2四半期決算短信

平成22年1月13日

上場会社名 サイバーステップ株式会社

コード番号 3810 URL <http://www.cyberstep.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 類

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長

(氏名) 今坂 るみ

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

TEL 03-5465-1500

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第2四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
22年5月期第2四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第2四半期	560	49.8	△49	—	△58	—	△90	—
		—	△435	—	△444	—	△503	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年5月期第2四半期			円 銭					
21年5月期第2四半期			△4,576.38					
			△25,228.63					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
22年5月期第2四半期	百万円	百万円	%	円 銭
21年5月期	842	339	35.2	15,027.63
	875	419	44.5	19,723.77

(参考) 自己資本 22年5月期第2四半期 296百万円 21年5月期 388百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年5月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名)) 除外 一社 (社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第2四半期 21,755株	21年5月期 21,755株
② 期末自己株式数	22年5月期第2四半期 1,993株	21年5月期 2,033株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年5月期第2四半期 19,743株	21年5月期第2四半期 19,966株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、連結業績予想については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、2008年秋からの世界的な金融不安を背景とした景気の低迷が続いており、平成21年春先以降において積極的な景気対策により一度は景況感に改善が見られたものの、依然として輸出産業や国内産業の収益は圧迫され、設備投資の減少や雇用情勢の悪化、個人消費の不振は続き、景気の自立的回復は不透明な状況であります。

わが国のゲーム業界においては、現在、オンラインゲームユーザー数は伸びているものの市場の発展は足踏み状態となっております。一方で、コミュニティサービスに着眼したタイプのネットワークゲームが出現し、活況を呈するなど、我が国のゲーム業界は今後様々な拡大の可能性を秘めているものと考えられます。

このような経済状況のもとで当社グループは、創業時から一貫して単独で国際競争力のあるオンラインゲームの開発を続け、日々変化するユーザーの志向を反映したゲーム性の追求だけでなく、当社グループ開発のゲームタイトルを複数プラットフォームで展開し、国内はもとより海外各国の運営会社との協力関係を深めながら、日本を含め広く17カ国地域のユーザーの皆様に魅力あるゲームを楽しんでいただいております。

当第2四半期連結会計期間には、新規タイトル『ゲットアンドド2』『コズミックブレイク』のアジア各国におけるサービス開始に向けて運営会社と協議を重ね、準備を進めてまいりました。また、連結子会社である CyberStep Communications, Inc.においても、北米での自社運営を拡大すべく課金インフラの整備、現在運営している2タイトル『SplashFighters』『HolyBeast Online』に続く新たなゲームタイトル投入の準備をいたしました。

日本国内での自社運営は、前連結会計年度においてサービスを開始した『ゲットアンドド2』『コズミックブレイク』が、当第2四半期連結会計期間においてもユーザーの皆様から引き続き高い評価を頂いております。

しかしながら既存ゲームタイトルはロングヒットではあるものの主にアジア市場においては売上が頭打ち傾向にあるだけでなく、予想を遙かに上回る円高が進行し、ロイヤリティー売上高が影響を受けました。また、世界的な経済環境の悪化等の理由により、各国で当社グループ開発の新ゲームタイトルの正式サービス開始が遅れており、当第2四半期連結会計期間において予定していたライセンス料売上の計上が行えませんでした。この結果、当第2四半期連結会計期間においては、ロイヤリティー売上高は114百万円（前年同期比8.8%減）、自社運営売上高は153百万円（前年同期比210.0%増）、合計で268百万円（前年同期比52.9%増）となりました。

これに対し、費用面では、コスト統制を強化しつつ、当 下期に予定されている各国での新規タイトルのサービス開始に向けて人的・物的投資を積極的に行い、営業損失15百万円（前年同期比94.1%減）、経常損失21百万円（前年同期比92.1%減）、税金等調整前四半期純損失21百万円（前年同期比92.2%減）となりました。

海外からのロイヤリティー収入及び入金ライセンス料にかかる外国税額について控除しきれない金額が発生し、法人税等を15百万円（前年同期比31.4%減）計上し、最終的に四半期純損失は36百万円（前年同期比87.4%減）となりました。

当社グループはオンラインゲーム事業を営んでおり、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメントの記載をしておりません。

また、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの業績は記載を省略しております。

なお、平成22年5月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年5月期第1四半期決算短信（平成21年10月9日開示）をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32百万円減少し、842百万円となりました。これは主に、未収消費税の減少11百万円、減価償却等による固定資産の減少19百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、503百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ80百万円減少し、339百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少93百万円と、新株予約権の増加11百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、443百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動におけるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純損失58百万円、減価償却費の計上15百万円、株式報酬費用の計上13百万円、売上債権の減少37百万円、前受金の増加22百万円、未払費用の減少7百万円、未収消費税等の減少11百万円、法人税等の支払額33百万円などにより、△0百万円となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動におけるキャッシュ・フローは、主として定期預金の預入による支出40百万円などにより、44百万円の支出となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動におけるキャッシュ・フローは、主として長期借入金の借入による収入50百万円、長期借入金の返済による支出5百万円などにより、45百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成21年7月14日の決算短信に公表いたしました当第2四半期連結累計期間の業績予想を、平成21年12月25日付で修正いたしました。

なお、当連結会計年度の通期の連結業績予想につきましては、厳しい経済環境を考慮いたしますと不透明な要因はあるものの、当第2四半期連結累計期間には計上できなかったライセンス料売上を、当 下期に計上できるものと見込んでいることから、現時点においては平成21年7月14日の決算短信に公表いたしました業績予想を変更しないこととしております。

詳細は、平成21年12月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。したがって、様々な要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクには、以下のようなものがあります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

新規ゲームタイトルがヒットしなかった場合のリスク、自社運営サービスが思うように進められなかつた場合のリスク、ユーザーの個人情報に関するリスク、システム障害に関するリスク、人材の確保に関するリスク

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

提出会社は有形固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用しているため、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失、当期純損失、重要なマイナスの営業キャッシュ・フローを計上したことによって、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象（以下「重要事象等」という。）が発生いたしました。

また、当第2四半期連結累計期間においても、重要な営業損失、経常損失、四半期純損失、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、かつ、継続的な営業損失を計上し、重要事象等が存在しております。

当該状況を解消し、また改善するための対応策として、前連結会計年度より実施している新規採用の抑制、販売促進費の適正化、その他の費用の統制などの諸施策への取り組みを引き続き実施しつつ、効率的な事業活動を行い、かつ、当社グループ開発の新規オンラインゲームの各国・地域での立ち上げを着実に行いロイヤリティー等の収入を確保すると同時に、日本国内、北米における自社運営の収益力をさらに高めることにより、損益及び資金の状況は改善する見込となっております。

また、取引金融機関と良好な取引関係を継続し、前連結会計年度から引き続き財務基盤の安定を図ってまいります。

このように、当第2四半期連結累計期間においては継続企業の前提に関する重要事象等は存在しているものの、上記の既に実施している施策を含む効果的かつ実行可能な対応を行うことにより、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないものと判断いたしております。

なお、文中の将来に関する事項は、現時点において当社が合理的であると判断したものであります。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	544,329	511,119
売掛金	99,493	136,947
原材料及び貯蔵品	326	548
その他	21,906	30,327
流动資産合計	666,056	678,943
固定資産		
有形固定資産	61,144	76,126
無形固定資産		
その他	8,893	10,799
無形固定資産合計	8,893	10,799
投資その他の資産		
保証金	96,557	97,311
その他	10,118	11,850
投資その他の資産合計	106,675	109,161
固定資産合計	176,713	196,086
資産合計	842,770	875,030
負債の部		
流动負債		
買掛金	2,115	2,779
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	15,144	8,004
未払法人税等	6,207	9,136
前受金	276,665	254,371
その他	35,122	50,298
流动負債合計	395,254	384,590
固定負債		
長期借入金	108,258	70,662
固定負債合計	108,258	70,662
負債合計	503,512	455,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,895	334,895
資本剰余金	324,895	324,895
利益剰余金	△143,242	△49,364
自己株式	△215,579	△219,906
株主資本合計	300,967	390,519
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△3,991	△1,527
評価・換算差額等合計	△3,991	△1,527
新株予約権	42,281	30,785
純資産合計	339,258	419,777
負債純資産合計	842,770	875,030

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	374,130	560,593
売上原価	88,624	200,359
売上総利益	285,505	360,233
販売費及び一般管理費	721,066	409,807
営業損失(△)	△435,560	△49,573
営業外収益		
受取利息	599	184
還付加算金	349	69
その他	458	6
営業外収益合計	1,407	260
営業外費用		
為替差損	9,647	7,361
その他	463	2,127
営業外費用合計	10,110	9,488
経常損失(△)	△444,264	△58,802
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,280
特別利益合計	—	2,280
特別損失		
固定資産売却損	—	1,440
固定資産除却損	1,276	87
特別損失合計	1,276	1,528
税金等調整前四半期純損失(△)	△445,541	△58,049
法人税、住民税及び事業税	58,173	32,301
法人税等合計	58,173	32,301
四半期純損失(△)	△503,714	△90,351

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	175,586	268,437
売上原価	49,476	98,859
売上総利益	126,109	169,577
販売費及び一般管理費	383,121	184,729
営業損失(△)	△257,011	△15,151
営業外収益		
受取利息	35	58
還付加算金	349	36
その他	321	6
営業外収益合計	706	101
営業外費用		
為替差損	12,373	4,908
その他	165	1,157
営業外費用合計	12,538	6,066
経常損失(△)	△268,843	△21,116
特別損失		
固定資産除却損	1,174	—
特別損失合計	1,174	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△270,018	△21,116
法人税、住民税及び事業税	23,136	15,861
法人税等合計	23,136	15,861
四半期純損失(△)	△293,154	△36,977

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△445,541	△58,049
減価償却費	18,845	15,275
長期前払費用償却額	2,538	2,538
株式報酬費用	8,278	13,777
新株予約権戻入益	—	△2,280
受取利息	△599	△184
支払利息	—	1,535
為替差損益（△は益）	10,351	5,694
固定資産売却損益（△は益）	—	1,440
固定資産除却損	1,276	87
売上債権の増減額（△は増加）	5,991	37,412
たな卸資産の増減額（△は増加）	△234	221
仕入債務の増減額（△は減少）	8,797	△598
前受金の増減額（△は減少）	163,484	22,294
未払費用の増減額（△は減少）	△3,308	△7,562
その他の資産の増減額（△は増加）	747	7,035
その他の負債の増減額（△は減少）	△13,847	△3,620
その他	369	—
小計	△242,849	35,017
利息及び配当金の受取額	578	184
利息の支払額	—	△1,891
法人税等の支払額	△41,383	△33,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	△283,654	△467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△40,000
有形固定資産の取得による支出	△53,417	△1,113
無形固定資産の取得による支出	△2,332	—
有形固定資産の売却による収入	—	692
その他	—	△3,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,749	△44,039
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	—	△5,264
自己株式の取得による支出	△37,087	—
ストックオプションの行使による収入	—	800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,087	45,536
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,346	△7,758
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△386,838	△6,728
現金及び現金同等物の期首残高	630,265	450,512
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	22,894	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	266,321	443,783

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年11月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年11月30日）

当社グループはオンラインゲーム事業を営んでおり、同一セグメントに属するゲームの開発、運営を行っています。当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年11月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年11月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年11月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	282,105	327	282,432
II 連結売上高（千円）	—	—	374,130
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	75.4	0.1	75.5

当第2四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年11月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	243,609	8,720	252,329
II 連結売上高（千円）	—	—	560,593
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	43.5	1.6	45.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…韓国、中国、台湾、タイ

(2) その他の地域…南米、北米、欧州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。